

12/29
(月)

満ちあふれる神の恵み

コリントの信徒への手紙Ⅱ一二章一～10節

主は、「私の恵みはあなたに十分である。力は弱さの中で完全に現れるのだ」と言われました。だから、キリストの力が私に宿るよう、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。（9）

パウロは激しい痛みを伴う病気を抱えていたようです。その痛みは伝道の働きを妨げるほどでした。その癒しを願つて、パウロは繰り返し神に祈りました。ところが主の答えは、「私の恵みはあなたに十分である」というものでした。病は癒されていないのに、神は「恵みは十分」と言われるのです。私たちが考える恵みと、神の恵みとは必ずしも同じではありません。恵みとは、神によつて造られた人間が人としての本来の生き方を回復していくものです。それは造り主なる神を信じ、神に寄り頼んで生きるようになることです。パウロは弱さをとおして、被造物である人間としての健やかさが回復されていきました。そのとき、弱さを初めて受け入れることができたのです。この一年も、弱い私たちを支えてくださった主の恵みを思い、心からの感謝をささげようではありませんか。